八碁連だより

6月号　　第334号

発行日　令和元年６月１日（土）
発行所　八王子囲碁連盟
住　所　八王子市大和田町3-17-42-110
電　話　042-686-1762
発行者　成田　滋
編集者　森本　康男

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。

はなもも(バラ科)紅白の源平桃
高尾街道(犬目)の北の根の道
八碁連HP　https://hachigoren.com

(巻頭言)　　**南大沢囲碁同好会　小川浄二**

・自己紹介　私は 15 才でルールを覚え、気の向くままにやっていたが、26 才のとき転機を迎えた。それは故大平修三九段(元日本棋院選手権者、現天元位)との出会いである。毎週のように大平先生に指導を受けるようになり、その数約 3000 局。他の趣味はゴルフを少々やった程度で、碁一本で研究しながら楽しんで来て、昨年傘寿を迎えた。八王子市に 25 年程住んでいるが縁あって国分寺市の囲碁サロンを中心に 20 年ほど楽しんで来ており仲間も出来現在も付き合いが続いている。数年前に柚木町地区の大会に参加させていただいた。そして、八碁連の文化祭や棋聖大賞大会に参加させていただき、偶々優勝したりして存在を認知して下さったように思います。

・最近の囲碁界について

レジャー白書 2018 によると、将棋の 700 万人に比べ囲碁人口は 190 万人と云われ減少してきている。我が国のお家芸で

あった筈が、世界戦では中国に、韓国に負けていることはご承知のとおりである。井山裕太五冠が孤軍奮闘しているが、いま一歩及ばないといったところ。日本棋院副理事長だった小林覚氏(現在 理事長)が改革に乗り出した。女流棋士が少ないのに目を付け、採用を増やし、英才の発掘に着手した。世界戦で勝てる女流棋士を早期に育成しようという訳である。その第一号が中邑 菫(なかむら すみれ 10 歳)新初段である。メデイアに大きく報道され活躍が期待され、これから当分、“菫ちゃん人気”が続くと思われる。他にも 12 歳でプロ入りした上野梨紗新初段らもおり、女流棋士の活躍が楽しみだ。囲碁の普及にも大きく貢献してくれることだろう。

・多摩地区について　一昨年から始まった市対抗団体戦(8 市)は、昨年が 16 市、今年は全市(26 市)が参加し開催される見通しで、規模的にみても歴史的大会となった。各チームの編成は級位者や女性から高段者まで多彩で 300 人規模の大会となっており、日本棋院から囲碁界の改革を目指す小林覚理事長が出席くれるやの情報もあり楽しみだ。

　一方、昨年 10 月国分寺市在住の広瀬優一三段(17 歳)が新人王のタイトルを獲得した。２月現在７連勝と好成績で、これもまた楽しみで応援して行きたい。

第８回八王子市子ども囲碁大会のお知らせ

日時：2019 年 6 月 23 日(日)　９時 15 分～16 時(９・13 路盤は 12 時終了)

場所：八王子市東浅川保健福祉センター４Ｆ　第５・６会議室

目的：市内小中学生への囲碁の普及と伝統文化の継承を図る

後援：八王子市･八王子市教育委員会･日本棋院

協力：東浅川保健福祉センター

参加対象者：八王子市在住、又は通学している小中学生(弁当は各自持参)

参加費：無料

参加申込締切：６月 18 日(火)まで(厳守して下さい)

申込先：以下の項目を正しく記入し成田滋　shigerunarita@gmail.com
またはファックス 042-686-1762 でお申し込み下さい。

・子どもの名前(呼び方)：　　、学年：
・希望する路盤：9･13･19 路盤
・指導者：
・所属学校：
・保護者名：住所　　電話：
・メールアドレス：

八碁連同好会会長リスト　　2019 年 4 月 1 日

同好会	会長名	〒番号	メール	電話
浅川	岸村　佐 (連) 正岡得達	193-0943	m-masaoka@tbz.t-com.ne.jp	661-6249
恩方	藤森　力	192-0152	chikara.f306@jcom.zaq.ne.jp	651-9764
元八	竹添文彦	193-0814	bun-takezoe@jcom.zaq.ne.jp	626-4245
中野	宮崎　洋	192-0085	hiroshivegas777@gmail.com	625-4267
大和田	鈴木浩治	192-0045	suzuki18@galaxy.ocn.ne.jp	648-8063
石川	水野義嗣	192-0023	fwgj3805@nifty.com	692-3844
台町	白石好伸	192-0902	s.yoshinobu59@gmail.com	623-3521
長房	福嶋常光	193-0824	tsune-fksm@tbz.t-com.ne.jp	666-8410
川口	高取民治	193-0803	Hjddh381@yahoo.co.jp	622-6132
南大沢	武中章三	192-0363	sho3take@nifty.com	675-1433

第 29 回活きいき囲碁大会のご案内

大和田大会　　主催：大和田囲碁同好会

日時　　令和元年６月２日(日)　　受付：午前９時 00 分～９時 30 分

場所　　大和田市民センター　(大和田町 5-9-1)　電話：645-8980

対戦方式　　スイスシステム４回戦方式を採用

なお、従来の和室から会議室での机椅子対戦採用

申込先　会長　鈴木　浩治　〒192-0045　大和田町 7-10-3-301

電話：648-8063　メール：suzuki18@galaxy.ocn.ne.jp

申込期限　５月 19 日(日)

石川大会　　主催：石川囲碁同好会

日時　　令和元年６月 16 日(日)　　受付：午前９時 00 分～９時 30 分

場所　　石川市民センター　　(石川町 438)　電話：642-0220

申込先　会長　水野　義嗣　　〒192-0023　久保山町 1-9-3-809

電話：692-3844　　メール：fwgi3805@nifty.com

申込期限　６月 16 日(日)

台町大会　　主催：台町囲碁同好会

日時　　令和元年６月 30 日(日)　受付：午前９地 00 分～9 時 30 分

場所　　台町市民センター(台町 3-20-1)　電話：627-3808

申込先　会長　白石　好伸　　〒192-0902　上野町 20-5

電話：623-3521　メール：s.yoshinobu59@gmail.com

申込期限　６月 18 日(日)

上記３大会とも　主催　　各地区囲碁同好会

後援　　日本棋院　八王子市　八王子市教育委員会

参加資　　市内に居住している囲碁愛好者

参加　　会員：¥1,000-(含弁当代)　非会員：¥1,200-

競技方法　クラス別に行い、入賞者には賞品を贈呈。

申込方法　同好会の会長を通して申し込んで下さい。

日本棋院八碁連支部　コーナー　　常任幹事　南　正一郎

第 6 回級位認定囲碁大会のご案内

日時　　令和元年 7 月 28 日(日)　　受付：9 時 20 分
場所　　東浅川保健福祉センター４F
主催　　日本棋院八王子囲碁連盟支部
共催　　八王子囲碁連盟
後援　　八王子市　　(公財)日本棋院
競技方法　4 回ハンデ戦　A クラス(１～3 級)　B クラス(4～6 級)
　　C クラス(7 級以下)
表彰　　各クラス共、3 勝 1 敗以上で 1 階級昇級とし、日本棋院の認定状を発行する。但し、1 級から初段へは 4 勝が必要。C クラスで 4 勝した時は 2 階級昇級とする
特典　　4 勝者には日本棋院の免状と賞品を進呈する。但し、初段の免状については本人負担とし、日本棋院への入会が必要です。
参加費　　¥1,000-(昼食代含む)
申込先　　南正一郎　Tel/Fax：663-5446
　　Ｅメール　sminami0003@yahoo.co.jp
　　(各同好会および初心者教室で一括して申し込み下さい)
締切　　7 月 17 日(水)　　皆様の多数の参加をお願いします。

第 10 回指導碁の参加者募集

日本棋院　熊丰(ﾕｳﾎｳ)六段による指導碁
日時　　令和元年 7 月 28 日(日)　10 時 15 分
場所　　東浅川保健福祉センター4F　(なお、当日は第 6 回級位認定大会も行われます)
参加資格　八碁連会員
募集人員　12 名(先着順で締め切ります)
参加費　　¥2,000-(昼食代は別)
内容　　第 1 ラウンド　10 時 30 分~12 時
　　(昼食･懇談(期士を囲んで)

第 2 ラウンド　12 時 45 分~14 時 15 分
第 3 ラウンド　14 時 20 分~15 時 50 分
各ラウンドは四面打ち／ラウンド順は前以て連絡します

申込先　南正一郎　Tel/Fax：663-5446
E メール　sminami0003@yahoo.co.jp

締切　7 月 17 日(水)

関東甲信越静地区支部代表者懇談会について

支部長　成田　滋

去る 3 月 22 日に日本棋院において、平成 30 年度関東甲信越静地区支部代表者懇談会が開かれました。八碁連支部からは吉澤　實、三島敏明、南正一郎氏、そして、成田が出席しました。代表者懇談会では棋院より最近の会員の減少状況、普及事業活動、厳しい財政状況による支部への普及協力金の減額、囲碁サミット、青少年囲碁大会、小中高校や大学における囲碁普及、囲碁普及および指導員制度の充実策などが報告されました。いくつかの支部からは日本棋院に対する厳しくも暖かい激励がありました。その後、プロ棋士による指導碁、懇親会と続きました。席上、八碁連支部は全国で会員増十傑の第五位として表彰されました。

支部総会を開催しました

2019 年 3 月 30 日(土)、東浅川保健福祉センターに於いて支部総会を開催し、つぎのことが了承された。

1　2019 年度役員

支部長	成田　滋	
常任幹事	南　正一郎	
幹事	竹内　朝晴	三島敏明
会計	竹内　朝晴	
顧問	望月　成一	
会計監査	吉澤　實	

2　2019 年事業計画

(1) 定例総会の開催　　2020 年 4 月　東浅川保健福祉センター

(2) 第 6 回級位認定囲碁大会の開催 2019 年 7 月 28 日(日)　東浅川保健福祉センター

(3) 日本棋院ファン感謝囲碁祭りに参加　期日未定
日本棋院市ヶ谷本院

(4) プロ棋士による指導碁の開催
第 10 回　　2019 年 7 月 28 日　　東浅川保健福祉センター
第 11 回　　2019 年 11 月 24 日　　同上

(5)　六段の会の開催　毎土曜日　午後 1 時~5 時　同上

(6)　日本棋院甲田明子四段による指導碁の開催
毎月 1~2 回　午後 1 時~5 時　　東浅川保健福祉センター

なお、支部会員間の情報、意見交換を目的に連絡網や会員の囲碁大会を含め、集まる機会を設けるべきとの意見があるので検討する。

日本棋院からの連絡事項について

(1)　2019 年度特典の変更

中邑菫初段が最年少記録を更新して入段し、囲碁界も各メデイアの注目を浴びるようになり、囲碁界にとって追い風が吹いている中ではあるが、財政状況が非常に厳しい状況にあることから次に二点について変更する旨の連絡があるました。

・普及協力金の金額を従来の 50%とする。

・棋士派遣につき、一次、二次派遣はともに停止する。支部報奨派遣は 10 位までとし、棋士 2 人から 1 人に変更。

八碁連支部の活動の資金は普及協力金であることは以前にも説明しましたが、半額(約 2 万円)になることは支部にとっても大変厳しい状況にあります。また、上記事業計画(4)にある指導碁も第 10 回は前年度に獲得した報奨派遣で行いますが、第 11 回は従来の二次派遣の適用がなくなりますので、指導料は大幅にアップします。日本棋院としても、無論来年度以降も変更のままという

ことではなく、小林覚副理事長(現理事長)を筆頭に「支部特典改訂委員会」を起ち上げて検討に入るとのことですので、期待したいと思います。

(2) 会員料の改訂

昨今の印刷物に関わる諸誌材原料の値上げ、配送費等の高騰により、もはや企業努力のみでは従来の価格を維持することは極めて困難であるとし、2019 年 7 月 1 日より改訂する旨の連絡がありました。

支部としては、会員期間が 2019 年 7 月 1 日～の会員の皆様より適用になりますが期間満了通書でお知らせすることになります。具体的な改訂後価格は省略しますが、会員種別にもよりますが、概ね 10~15%のアップです。

第 29 回活きいき囲碁大会の結果

恩方大会　　4 月 21 日(日)　　於：恩方市民センター

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	長房	川口	南大沢	一般	初心者	計
１１	３５	８	４	７	２	０	２２	３	３	１	２	９４

A クラス(七段～五段)：18 名

優勝：井上栄次郎(中野)七段　準優勝：笠原純吉(恩方)七段　三位深山睦弘中野)／五段 A

B クラス(五段～二段)：26 名

優勝：中谷勝信(川口)四段 A へ　準優勝：八幡満(大和田)二段　三位：横嶋清次(恩方)三段

C クラス(二段～２級)：26 名

優勝：浮嶋廣行(南大沢)三段へ　準優勝：清水純一(長房)１級　三位：高橋俊夫(大和田)二段

D クラス(３級～９級)：２４名

優勝：箕輪紀雄(恩方)３級へ　準優勝：細貝光宏(長房)５級　三位：久野喜生(一般)９級

元八王子大会　　5 月 5 日(日　　於：元八王子市民センター

参加者数：78 名

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	長房	川口	南大沢	一般	初心者	計
２	１７	２０	２	５	１	３	１９	５	２	０	２	７８

Ａクラス(七段~三段)：26 名

優勝：棚原英治(元八)四段Ａ→五段　準優勝：小長井康雄(元八)三段　三位：深水靖雄(元八)四段

Ｂクラス(二段~１級)：26 名

優勝：大川健治(台町)二段→三段　準優勝：小田晟雄(大和田)二段　三位：尾崎健二(恩方)１級

Ｃクラス(2 級～9 級)：26 名

優勝：服部秀子(恩方)５級→4 級　準優勝：藤森　功(恩方)5 級　三位：吾妻富子(恩方)9 級

八碁連地区同好会会員現況　　**(H31 年４月現在)**

同好会会員数					研修部在籍数		
年度	29 年度	30 年度	31 年度	前年比	29 年度	30 年度	31 年度
浅川	40	40	36	-4	7	10	10
恩方	48	51	56	5	5	13	10
元八	24	29	32	3	7	9	9
中野	28	30	30	0	0	0	1
大和田	29	34	36	2	6	5	5
石川	24	24	17	－7	1	1	1
台町	16	18	16	－2	9	7	7
長房	61	61	61	0	24	25	25
南大沢	38	40	42	2	0	0	1
川口	29	26	22	-4	5	5	4
その他							２(*)
合　計	321	335	332	-3	64	75	75

(*)：Ｈ３１年度より北野同好会(30 年度 31 名在籍)が八碁連を脱会したが２名が研修部に在籍。

エッセイ

お茶と緑茶　　長房囲碁同好会　池口隆久(筆名：赤石五郎)

うちでは、お茶といえば「薬王院茶」のことである。一般家庭のお茶は緑茶

でしょうが、うちのお茶は薬王院茶にかぎる。高尾山登山を続けていたころ、参拝者控え所で薬王院茶をいただいていたのが病みつきになり、健康によかろうということで、家族全員で飲むようになったのがきっかけかな。飲み物と食べ物の味に微妙な感覚を持っている茉実(孫娘)も、学校に行くには水筒を持ってきて「バーバ、お茶を入れて」と薬王院茶を請求する。

だから、緑茶やほうじ茶などは、かなり以前のものと思われる茶葉が茶筒に残っていたりする。「これはいつのかしら」と、家内も首をかしげながら、たまには緑茶を入れる。たまにいれてくれる緑茶もいいものだ。薬王院茶の箱には、クコの実、ハトムギ、ハブ草の実、桑の葉、カワラケツメイ、熊笹、ベニバナ、しいたけ、アマチャ、イチョウの葉など、が原料として記載されている。これは健康上良いであろう。

コーヒーは朝食後に飲む。館高校弓道部の合宿で菅平に行ったときに、天狗ロッジといったかな、そこの宿泊先で朝食時には、教職員(引率者)用にコーヒーが置いてあった。生徒たちはこちらを通りすがりにのぞきこんでは、「いいなあ、先生たちは」とうらやましがっていたが。引率者だけに許された、朝食後のコーヒーは実にうまかった。合宿が終わって家に帰ってからも、ささやかな楽しみを味わうのが習慣になってしまった。ネスカフェ・ゴールドブレンドをスプーンに一杯だけと、スキムミルクをスプーン１杯と、それにコーヒーシュガーほんの少しとを入れて。

高尾山健康登山も満行 100 回を終えると、もう朱印帳に健康登山の判をおしてもらえなくなる。何となく張り合いがないのだ。その上、一番熱心な仲間内の中心的存在だった島根さんが突然に亡くなってしまったことなどもあり、彼女の死をきっかけにして、あまり無理をしてはいけないと自戒するようになっていた。早朝に歩くことには変わりはないが、ひところ、台町の富士森公園(浅間神社)まで歩いて往復していたが、最近はその少し手前の広園寺で戻ることが多い。忙しい日には、さらに程度を落とし、めじろ台駅で戻ってきてしまう日もある。

８時からは、弓道場で巻藁を 20 射だけ、体のリハビリと思って励み、9 時からは福祉センターの娯楽室で「囲碁の研鑽」(頭のトレーニング)に励んでいる。弓道と囲碁を両方とも午前中にやりたいとなると、どうしても高尾山にま

で足を伸ばすのは無理である。午後は、うちで妻とお茶を飲んだり、棋譜をならべたり、まあ、ボーとしている時間のほうが長い。これが日課である。

たまに高尾山に行くと、「どうしていたの？　おや、元気じゃないの！」と声をかけられる。きっと、私が体調を崩して山に来られないという噂が飛んでいたのだろう。ムリもないな。

久しく遠ざかっていた薬王院に、どうしても行かなくてはならないことがある。我が家の薬王院茶が残り乏しくなってくると、薬王院茶を求め、いつものように(8 年間つづけていた日課ですからな)、蛇滝経由で薬王院の売店まで登る。懐かしい人に会うと、なぜか心がほっとする。心の片隅に、「高尾山に登らないことが、山仲間に申し訳ない」みたいな気持がわいてくるから不思議である。いまさら、弓道を再開したからなどと、とってつけたような言い方はしない。

コンピュータの変遷と八碁連 Web サイト作りまで

大和田囲碁同好会　成田　滋

私が毎日使っているのは iMac というパソコンです。24 インチの画面でいろいろな作業をしています。今は主に八碁連の Web サイトの構築と更新で、新しく会員専用サイト作りもしています。現在のパソコンはかゆいところに手が届くほど親切になっています。これはヒューマン･インターフェイスとかユーザー･インターフェイスといわれます。マウスはもとより、画面で表示されるメニューやアイコン、ウインドウ、ゴミ箱を空にするときは「完全に消去してもいいですか？」と表示される視覚的要素、エラーを出すと警告音が出たり文字を読み上げるといった聴覚的要素、触覚によるログインなど、人は間違いをおかす者だということを前提に、ハードとソフトは設計されています。コンピュータの使いやすさがこうした設計で格段に向上しました。

私が最初に利用したコンピュータは「UNIVAC1100」というものです。数値データの入力は 80 コラム仕様のマークシートカードで、それにパンチしてからカードリーダーで読み込んでは順次処理をしていました。これは「バッチ処理」と呼ばれました。カードを落としてばら

ばらにならないように、アッタッシェケースにいれて歩くのが一種のステイタスでした。

論文を書くために、計算機センターに出かけ FORTRAN という計算用の言語で書いたカードを読み取り統計処理をするのですが、プログラムのエラーでなかなか結果が出ません。「どこか間違っている」などのメッセージは出ません。そのため、大学は論文を書く院生に「コンピュータタイム」といって 100 時間は無料で使える恩典をくれます。ですが、何度も失敗すると 100 時間すぐになくなります。ある時サウジからきていた院生の時間を分けて貰ったこともあります。計算機センターには院生が常駐していて、こちらのプログラムのミスを指摘してくれたのは助かりました。それにしても昔の汎用コンピュータは不親切でした。

ある時センターの一角に小さな画面の機器を見かけました。パソコンです。ＰＣなどが並び始めました。パソコンの時代がやってきたのです。子ども学習用のソフトやゲームが動いていました。さらに Mac が登場し、マウスでアイコンをクリックしてプログラムを扱うことが出来るようになりました。私は初代の Mac をまだ持っています。入力装置も多様化しタッチパッドやパネルもでて、今や指を滑らせる操作―スワイプも当たり前となりました。

八碁連の Web サイトの構築では、WordPress という基本アプリを使っています。多くにプラインという機能を追加するプログラムも使い、ドラッグ＆ドロップ方式の双方向作業が出来たり、問い合わせフォームを作ったり、マップを貼りつけたりしています。ウイジットという画面操作を容易にしてくれる商品も使い、それにより作業が快適になりました。これまでのホームページをつくるのに使ってきた HTML という言語はほとんど不用になりました。

サイトの構築作業を最も効率的にしてくれるのは、24 インチとか 27 インチの画面です。複数のアプリを動かし、表示される何枚かのファイルからコピー＆ペーストし、更新しては保存し即座に動作を確認出来るのです。スマホも動作確認に一役かっています。作業をしながら

新着メールをチラリと見るのもスマホです。これもなくてはならない4.7インチの道具です。

（広告）

ウィスコンシン大学日本同窓会

留学生担当　成田滋　shigerunarita@gmail.com
https://www.wisc.edu